

そうま歴史資料保存ネットワーク

福島県相馬市の市民主体のネットワークです。

民間に残る歴史資料のレスキュー・研究を行っています。



福島県相馬地方は13年前の東日本大震災、その後2年続きの福島県沖地震、水害によって歴史ある建物の解体が進み、歴史ある街並みは失われつつあります。公費解体が一段階した現在、かつての市街地には更地・空き地が目立つようになってきました。地域の危機にあたって、有志が声をあげ、民間団体として立ち上げたのが「そうま歴史資料保存ネットワーク」です。「ふくしまネット」「宮城ネット」の援助を受けながら活動を続け、3年目を迎えました。

24年10月に「第2回シンポジウム そうまの歴史を守る・つたえる2024」を開催しました。

解体された土蔵からレスキューした商家の資料の調査を継続しています。1月に大学生による第2回研究成果発表会を開催します。

参加会員の拡大・運営資金・資料保存場所の確保など多くの課題を抱えています。より多くの市民の皆さん、行政の理解を得ることを目標として活動を続けています。全国ネットの皆さんのご支援をお願いします。

大学生・高校生の参加が大きな前進です。高校生の「総合的な探究の時間」での地域研究の活動と今後も連携していきたいと考えています。

